

第15回

# 淡海の川づくりフォーラム

## プログラム & 選考用資料



日時：令和5年(2023年)10月22日(日) 10:00~16:30 (受付 10:00 より)  
場所：ピエリホール (ピエリ守山2階)  
主催：淡海の川づくりフォーラム実行委員会 / 滋賀県  
共催：マザーレイクゴールズ推進委員会  
後援：滋賀県河港・砂防協会

公開用資料は一部加工しております。

## 目次

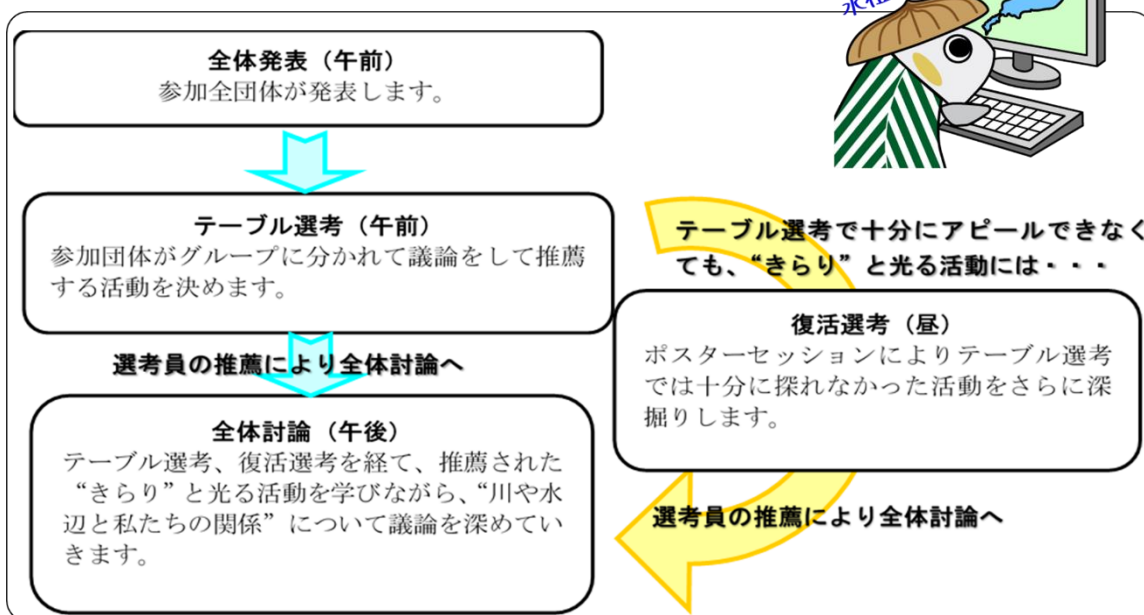
---

1. 淡海の川づくりフォーラムの概要.....	1
2. 大会プログラム.....	2
3. 公開選考会の進め方・選考基準、表彰について.....	3
(1) 「公開選考会」の意味.....	3
(2) 公開選考会の進め方について.....	3
(3) 選考基準.....	4
(4) 復活選考（ポスターセッション）.....	5
(5) 表彰.....	6
4. 参加団体一覧・テーブル.....	7
5. テーブル別各団体活動位置図.....	8
6. テーブル選考 選考員プロフィール.....	10
テーブルA.....	10
テーブルB.....	11
テーブルC.....	11
7. 全体討論 選考員.....	12
8. 総合コーディネーター・グラフィックファシリテーター&実行委員会.....	13
9. 参加団体活動概要.....	16
A-1 玉ーアクアリウム.....	16
A-2 滋賀県立大学 水利環境論.....	18
A-3 未来生物学研究所.....	20
A-4 小さな自然再生ネットワーク.....	22
A-5 びわ湖豊稔の郷.....	24
B-1 せせらぎの郷須原.....	26
B-2 NPO 法人国際ボランティア学生協会(IVUSA).....	28
B-3 日野川流域まもり隊.....	30
B-4 海をつくる会.....	32
B-5 京都産業大学鈴木ゼミ.....	34
B-6 結いの里・椋川.....	36
C-1 瀬田川リバプレ隊.....	38
C-2 長浜まちなか地域づくり連合会.....	40
C-3 山内エコクラブ.....	42
C-4 神山つなぐ公社.....	44
C-5 滋賀県公園魅力向上推進室・南湖東岸ゆうゆうパートナーズ.....	46
10. 現地会場 フロア全体図（ピエリホール ピエリ守山2階）.....	48

## 1. 淡海の川づくりフォーラムの概要

淡海の川づくりフォーラムでは、“川やびわ湖、水辺と共生する暮らし”、“川やびわ湖、水辺と私たちのいい関係”を探るため、公開選考方式のワークショップを通じて、川やびわ湖、水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに議論を深めます。

- 日時：令和5年（2023年）10月22日（日）10:00～16:30  
※第15回淡海の川づくりフォーラムは、令和5年10月20日（金）～22日（日）に開催される第31回全国川サミット in 守山・琵琶湖（主催：守山市、共催：滋賀県・淡海の川づくりフォーラム実行委員会）のプログラムの一つとして実施いたします。
- 会場：ピエリホール ピエリ守山2階  
（守山市今浜町 2620-5）
- 主催：淡海の川づくりフォーラム実行委員会／滋賀県
- 共催：マザーレイクゴールズ推進委員会
- 後援：滋賀県河港・砂防協会



淡海の川づくりフォーラムは、マザーレイクゴールズ推進委員会との共催事業です。



**Mother Lake Goals**  
変えよう、あなたと私から

淡海の川づくりフォーラムは、滋賀県流域治水条例第34条に基づく県民相互の連携の支援事業です。



## 2. 大会プログラム

時間	内容
10:00	○受付
10:15   10:30	○開会、ガイダンス 開会宣言を行い、その後1日の流れを説明します。
10:30   11:20	○全体発表 参加全団体による活動発表（発表時間各3分）
11:20   11:30	（3テーブルに配置換え）
11:30   12:20	○テーブル選考 1)3つのグループ（テーブル）に分かれます。 2)発表者と選考員とで議論を深め、全体討論に推薦する“いち押し”の活動を選考します。（テーブルごとに2団体） 3)ここで推薦が得られなかった団体は復活選考に進みます。
12:20   12:25	（全体形に配置換え）
12:25   12:40	○テーブル選考結果報告・推薦団体発表 各テーブルから推薦された団体（計6団体）を発表します。
12:40   13:20	○お昼休憩
13:20   13:50	○復活選考（ポスターセッション） ・参加者全員で、応援したい！活動に「応援メッセージカード」を贈ります。
13:55	（パネル移動・着席）
13:55   14:00	○復活選考の結果発表 ・復活選考から全体討論に進むのは3団体です。



	○全体発表・全体討論（適宜休憩をはさみます）
14:00	1)3分間で活動内容を発表、その後質疑応答。
	2)総合コーディネーター・全体討論選考員を中心に、明日からの活動の
16:00	参考になるような、今年いちばん“キラリと光る活動”について、 参加者全員でさらに議論を深めていきます。
16:00	○まとめとふりかえり
	グラフィックファシリテーション、キーワードにより、今年の淡海の川づくり
16:30	フォーラムの議論をふりかえります。
	○各賞の発表・表彰式
	1)「グランプリ」・「準グランプリ」の表彰
	2)「マザーレイクゴールズ賞」、「山紫水明賞（河港・砂防協会賞）」 の表彰
	3)「応援の花咲いた賞」の表彰

### 3. 公開選考会の進め方・選考基準、表彰について

#### (1) 「公開選考会」の意味

- 淡海の川づくりフォーラムは、公開選考会という仕組みを使って、“川やびわ湖、水辺と共生する暮らし”、“川やびわ湖、水辺と私たちのいい関係”について考えることが目的です・・・受賞団体の選考は、手段であって目的ではありません。
- お互いの発表を聞き、選考員や参加の皆さんそれぞれの視点を通して、活動の「よいとこさがし」をしてください。
- 16ページから、今回参加の皆さまの活動概要を掲載しています。ページの下側に、「よいとこ探しキーワードメモ」の欄を設けています。ぜひ、「よいとこキーワード」をメモして、議論に参加してください。
- 質疑応答や討論時間を使って行われる「よいとこさがし」は、“川やびわ湖、水辺と私たちのいい関係”について考えを深める時間です。

#### (2) 公開選考会の進め方について

- 選考会は、全体発表→テーブル選考→復活選考→全体討論(公開討論会)→表彰の順番で進めていきます。
- 全体発表は、参加団体が一堂に会して、日ごろの取り組みを発表します。全体発表は1団体3分とし、質疑は行いません。
- テーブル選考は3グループ、1テーブル4または5団体に分かれ、全体発表で語りきれなかった部分の説明や質疑を通じて、それぞれの活動について理解を深めます。発表者とテーブル選考員とで議論を深め、全体討論に推薦する“イチ押し”の活動を選考します。(テーブル毎に2団体)

- 全体討論選考員、一般参加の方は、テーブル選考の時間は各テーブル間を自由に移動ができます。
- テーブル選考で推薦が得られなかった団体は復活選考に進みます。復活選考では、選考員が会場内に掲示された各団体のパネルを見て回りますので、時間内で自由に選考員に活動内容をアピールしてください。復活選考から全体討論に進むのは3団体です。
- 全体選考に進んだ団体は、午後からの全体討論で再度発表をしていただきます。3分間で活動内容を発表した後、4分間の質疑の時間を設けます。
- 総合コーディネーター・全体討論選考員を中心に、明日からの活動の参考になるような、今年いちばん“キラリと光る活動”について、参加者全員でさらに議論を深めていきます。
- 選考員は、自らも発表者から情報を得たり、学んだりする姿勢を持ちながら参加者と一緒に“川やびわ湖、水辺と私たちの共生”、“川やびわ湖、水辺と私たちのいい関係”とは何かを探求する立場にあります。議論や選考は、後戻りや批判をすることなく、創造的に深めていくことを心がけてください。
- 「グラフィックファシリテーション」「ホワイトボードレコーディング」により、「リアルタイム」で議論の「見える化」を行います。



### (3) 選考基準

- 伝統的な文化と新しい文化が出会い融合する湖国滋賀にふさわしい“川やびわ湖、水辺と私たちの共生” “川やびわ湖、水辺と私たちとのいい関係”を探ります。
- 内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
- 公開選考会は、以下の4つのポイントにおいて総合評価します。

1) 発想・着眼評価：“川やびわ湖、水辺と私たちのいい関係”をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価  
 例えば…

- ・この発想はなかった！
- ・やれるところからやりはじめているのが、イイね！ など

2) 関わり評価：地域住民と水辺との豊かで良好な関わり合いについての評価

例えば…

- ・水辺が地域を元気にするね！
- ・継続は力だ！ など

3) プロセス評価：市民・住民参加や、さまざまな分野の人たちとの協働のプロセスについての評価

例えば…

- ・え、そんな人たちも参加しているんだ！
- ・その連携は面白い！ など

4) 計画・技術評価：“川やびわ湖、水辺と私たちの共生”のために工夫された計画手法や採用技術についての評価

例えば…

- ・そんなことが出来るんだ！
- ・すこしの工夫でずいぶん違うね～！ など



#### (4) 復活選考（ポスターセッション）

- 会場内に、各団体の活動を1枚にまとめたポスターを掲示したブースを設置します。参加団体はそれぞれのブースの前で参加者の皆さんに活動をPRしてください。
- 各団体の活動内容（ポスター）については、本プログラムP16～P47でもご覧いただけます。
- 参加者全員に「応援メッセージカード」を2枚ずつお配りします。もっと応援メッセージを贈りたい方のために、会場内にもカードを置いておりますのでご自由にお取りください。
- ポスターや各団体のPRを見て、応援したい！と思われた活動に「応援メッセージカード」を贈りましょう！
- 「応援メッセージカード」には一言でもメッセージを書いてください。団体の活動の励みになります。

The back of a support card. At the top left, there is a small box labeled "(団体名)". At the top right, the text "さんへ" is written. Below these, a large rounded rectangular area with an orange border is designated for writing. Inside this area, the text "<応援メッセージ (ひとことでも!) >" is written at the top, followed by three horizontal blue lines for writing.

## (5) 表彰

---

### 【グランプリ・準グランプリ】

---

- 上記の選考基準により、審査する時点の流域・地域の情勢も踏まえ、“水辺と私たちの共生”、“水辺と私たちのいい関係”のモデルとなる活動を選考します。
- 上記の選考基準により、仲間たちに希望を与える活動を選考します。

### 【マザーレイクゴールズ賞】

---

- 上記の選考基準とは別の視点から、マザーレイクゴールズ（MLGs）の目指す、2030年の持続可能社会の実現に向けて貢献する活動を選考します。
- テーブル選考で推薦されなかった団体も含めて、すべての参加団体が受賞の候補となります。

### 【山紫水明賞（河港・砂防協会賞）】

---

- 上記の選考基準とは別の視点から、今後の淡海のいい川づくり・いい湖づくりの（事業）推進に向けて貢献する活動を選考します。
- テーブル選考で推薦されなかった団体も含めて、すべての参加団体が受賞の候補となります。

### 【応援の花咲いた賞】

---

- 上記の選考基準とは別に、会場内に掲載した各団体の活動内容に対して、参加者からのメッセージが一番多かった団体を表彰します。
- 全ての参加団体が受賞の候補となります。
- 他の賞と重複して受賞する可能性もあります。



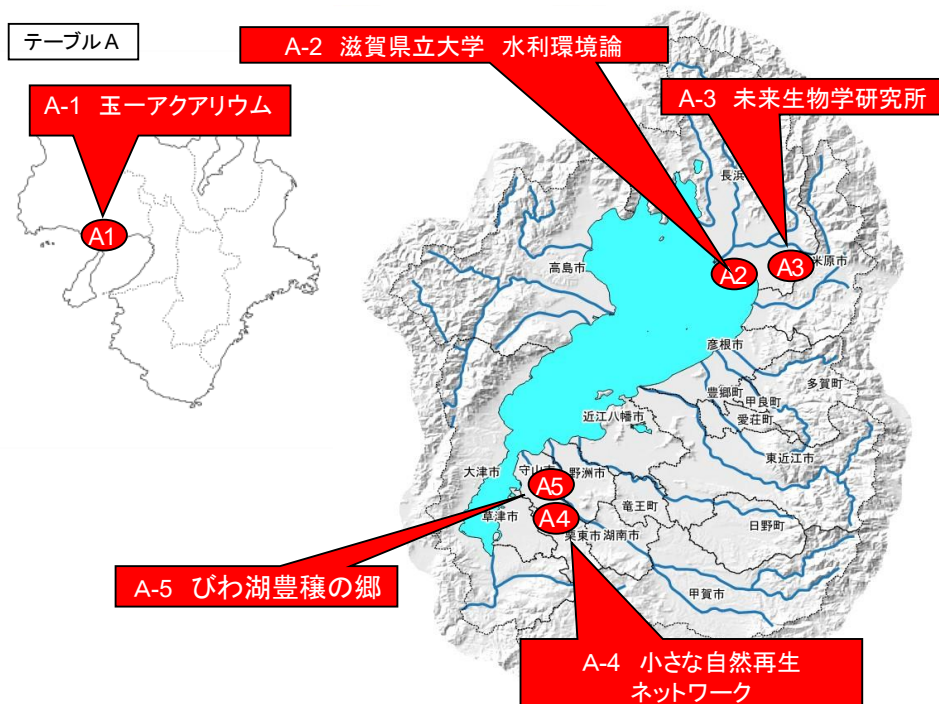
#### 4. 参加団体一覧・テーブル

●全体発表はA-1から順番に行います。

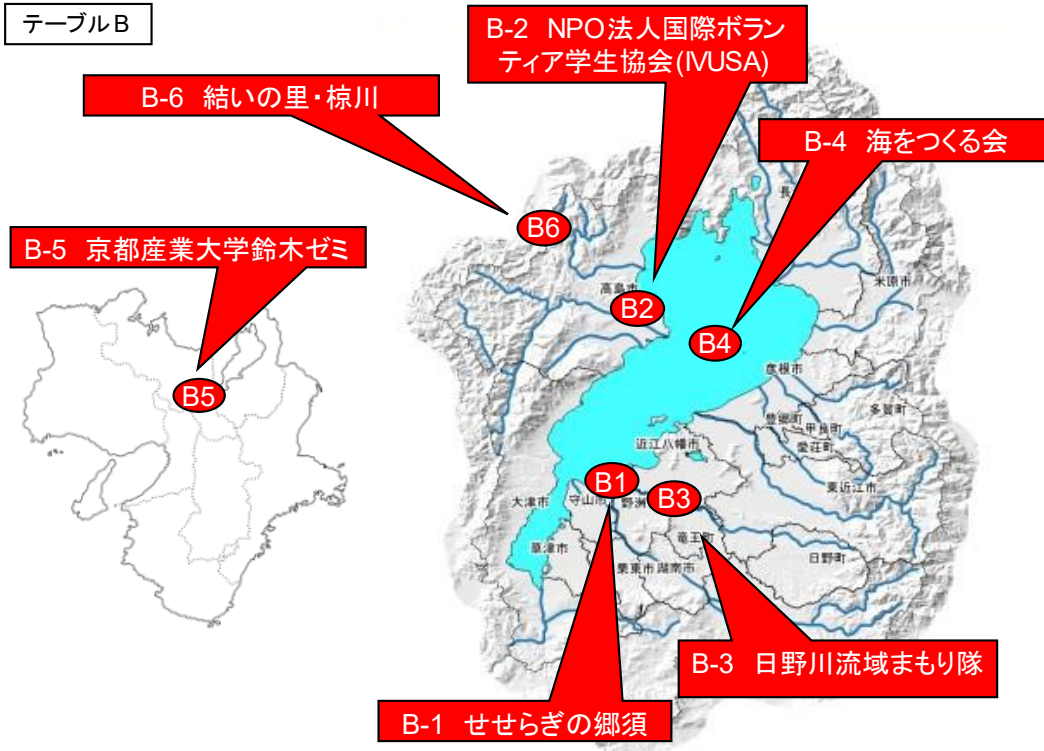
テーブル	グループ名	湖沼・河川・活動地域等	活動内容
テーブルA	A-1 玉ーアクアリウム	二級河川 明石川水系	明石川水系の生物多様性保全活動
	A-2 滋賀県立大学 水利環境論	姉川・米川・天野川・琵琶湖	すごろくの作成
	A-3 未来生物学研究所	彦根・米原・長浜の河川	環境保全活動を介した生物の種の保存と理系人材の育成
	A-4 小さな自然再生ネットワーク	中の井川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第3日曜日に「川をあるき」を行い、水辺の生物を観察する</li> <li>・中の井川にまつわる情報を調査・研究する。</li> <li>・周辺の人々と川を中心とした交流を深める</li> </ul>
	A-5 琵琶湖豊穡の郷	目田川 守山市守山町 付近	河川清掃、生き物調査、ホタルの幼虫放流
テーブルB	B-1 せせらぎの郷須原	琵琶湖、野洲市須原地域の水田	生物多様性に配慮した琵琶湖と共生する米づくり「魚のゆりかご水田」を柱に、多様な主体と連携した6次産業や環境教育の取組など、琵琶湖システムとして世界農業遺産にも認定された「せせらぎの郷 須原」の地域づくり。
	B-2 NPO 法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA)	琵琶湖 高島市	子どもの環境体験学習
	B-3 日野川流域まもり隊	日野川	不法投棄の温床となっている場所を月1回ごみ拾いの日を決めて日野川沿いの清掃業務を4年間続けています。一人から十数名に協力者が拡大できていること。
	B-4 海をつくる会	琵琶湖 全域	ダイバーを中心に、湖底及び湖岸の清掃をしています。また、清掃で得られたゴミデータを県へ提供しています。
	B-5 京都産業大学鈴木ゼミ	一級河川 鴨川(淀川水系)	三条大橋の魅力発信
	B-6 結いの里・椋川	北川	椋川地域の自然を気に入っている人たちや椋川、熊川の有志の人たち、そして水産学や河川工学の大学の研究者の方たちと川の生き物調査を始めたところ です。

C-1	NPO法人瀬田川リバプレ隊	(毎月10日) 高橋川(毎月25日)西の湖	草刈り、清掃。外来魚釣り。水質調査。
C-2	長浜まちなか地域づくり連合会	一級河川米川、長浜市市街地	1・川への関心を高めよう 2・川で遊ぼう 3・大学生、高校生など、地域内外の仲間と楽しもう 4・川を美しく、再生しよう 5・川の環境や生き物をもっと知ろう
C-3	山内エコクラブ	野洲川 琵琶湖	生き物観察会、プランクトン観察
C-4	神山つなぐ公社	一級河川 鮎喰川 (吉野川水系)	「行こう、鮎喰川！」多世代交流と暮らしの伝承 私たちの活動は、神山町で取り組んでいる地方創生のプロジェクト「まちを将来世代につなぐプロジェクト」として取り組んでいる活動です。
C-5	滋賀県公園魅力向上推進室・南湖東岸ゆうゆうパートナーズ	湖岸緑地南湖東岸 エリア	琵琶湖岸の公園管理
計		16 団体	

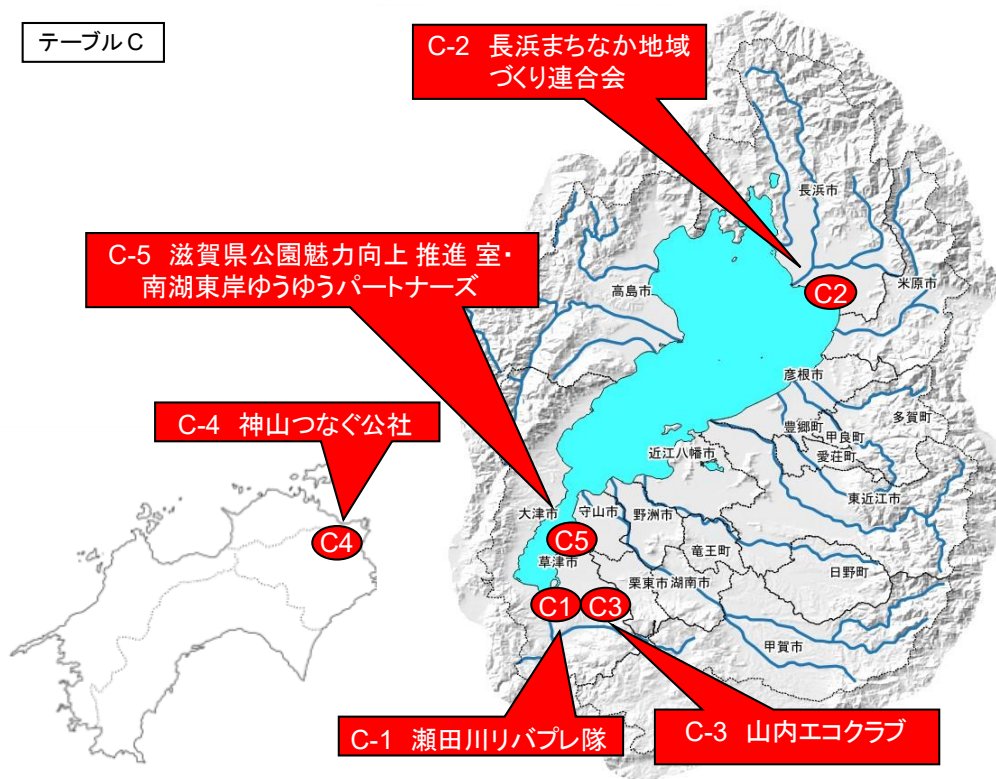
### 5. テーブル別各団体活動位置図



テーブルB



テーブルC



## 6. テーブル選考 選考員プロフィール

---

### テーブル A

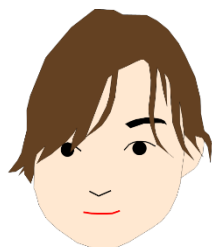
---

(テーブル・コーディネーター 兼 選考員)

---

竜王 みやび (りゅうおう みやび) / 山内エコクラブ 兵庫教育大学  
大学院生

---



(選考員)

---

清水 広行 (しみず ひろゆき) ONE SLASH/RICE IS COMEDY 代表 滋  
賀県 MLGs ふるさと活性化大使

---



---

波多野 真樹 (はたの まさき) / 滋賀県土木交通部 理事

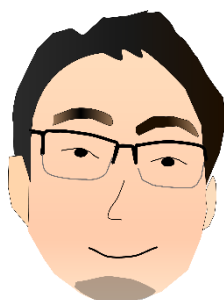
---



---

北野 大輔 (きたの だいすけ) / 滋賀県農業技術振興センター 環境研  
究部 主任技師

---



## テーブルB

---

(テーブル・コーディネーター 兼 選考員)

武田 みゆき (たけだ みゆき) / 守山市環境政策課 淡海を守る釣り人の会

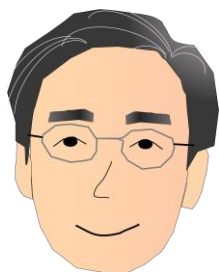
---



(選考員)

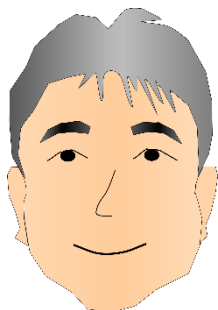
向田 直人 (むかいだ なおと) / NPO 法人 淡海淡水生物研究所

---



山崎 邦夫 (やまざき くにお) / 流域政策局 局長

---



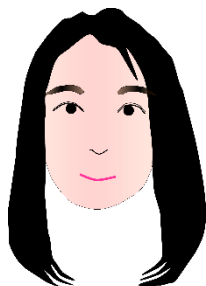
## テーブルC

---

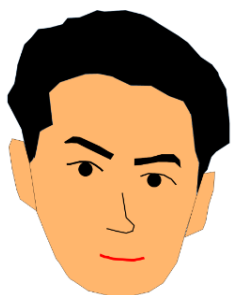
(テーブル・コーディネーター 兼 選考員)

辻 仁美 (つじ ひとみ) / 近江八幡市総合政策部企画課 主査、MLGs 案内人

---



(選考員)



---

菅原 芳明 (すがはら よしあき) / 農政水産部 耕地課 主幹

---



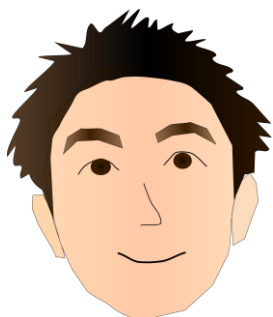
---

若公 崇敏 (わこう たかとし) / 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 事務所長

---

## 7. 全体討論 選考員

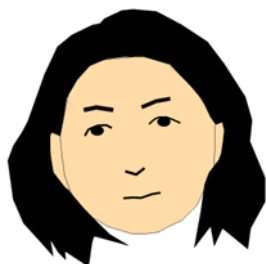
---



---

林 博徳 (はやし ひろのり) / 九州大学 准教授

---



---

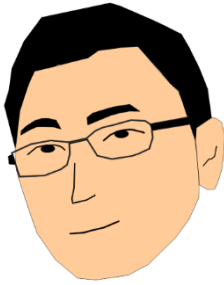
吉岡 美佐子 (よしおか みさこ) / 草津湖岸コハクチョウを愛する会 理事長

---

---

原田 守啓（はらだ もりひろ）／岐阜大学流域圏科学研究センター  
准教授

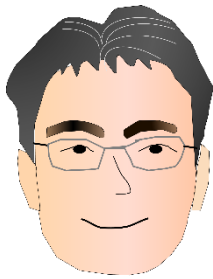
---



---

井上 栄壮（いのうえ えいそう）／琵琶湖環境科学研究センター  
専門研究員

---



## 8. 総合コーディネーター・グラフィックファシリテーター&実行委員会

---

（総合コーディネーター）

---

八木 宏晃（やぎ ひろあき）／静岡県 危機管理部 危機対策課 対策  
班長・しぞ〜か防災かるた委員会 副会長

---



(グラフィックファシリテーター)

---

あるがゆう

---



---

安田 希亜良 (やすだ きあら) / 滋賀県立大学大学院 環境科学研究科 環境計画学専攻 修士1年生

---



---

清水 麻依 (しみず まい) / 滋賀県立大学大学院 環境科学研究科 環境計画学専攻 修士1年生

---



---

(ホワイトボードファシリテーター)

---

辻 光浩 (つじ みつひろ) / 「奥村堤」の会 広報部長

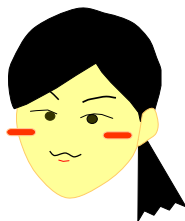
---





(実行委員会)

委員長



---

北井 香(きたい かおり) / NPO 法人まちづくりスポット大津  
コーディネーター

---

委員長代理



---

瀧 健太郎(たき けんたろう) / 滋賀県立大学 教授

---

実行委員会(流域治水検討委員会(住民会議))

滋賀県の流域治水基本方針の策定に向けた「水害から命を守る地域づくり県民宣言」を提言した、流域治水検討委員会(住民会議)の中から、「住民が次の年も活動するのに元気が出るような場をつくろう」との議論があり 2009 年に発足。

## 9. 参加団体活動概要

---

### A-1 玉ーアクアリウム

---

#### 活動のキーワード

---

- ①明石川と共に生きる    ②生物多様性保全活動    ③オリジナル図鑑作り

#### 発表内容

---

私たち玉ーアクアリウムは、1年を通して週に1～2回明石川水系の生物多様性保全活動としてモニタリング調査と外来種の駆除、在来種の保護活動をしています。

1年間の活動記録を夏休みに集まってまとめたものが「明石川オリジナル図鑑」です。自分たちで写真を撮り自分たちで絵を描き、文章も自分たちで考えた本屋さんには売っていない明石川のことが詳しく知れる図鑑です。神戸市自然環境課が製本してくださいました。神戸市のHPでも「明石川生物図鑑」と検索していただければ見られるのでぜひ見てください。

#### 活動中の川や水辺の名称

---

二級河川 明石川水系

#### 活動内容

---

明石川水系の生物多様性保全活動

よいとこ探しキーワード メモ！



# 明石川と共に生きる ~ ユークリアウム 明石川オリジナル図鑑 ~

私たちはユークリアウムは、1年を通して週に1~2回、明石川水系の生物多様性保全活動として、モニタリング調査と外来種の駆除、在来種の保護活動をしています。1年間の記録を夏休みに集まってまとめたものが「明石川オリジナル図鑑」で、毎年改訂しています。自分たちで写真を撮り自分たちで絵を描き、文も自分たちで考えた、明石川のことが詳しくわかるユークリアウムの図鑑です。

## 図鑑づくりのきっかけ

私たちは明石川源流から河口まで明石川水系の調査をして、捕れた種類や匹数を記録しています。1年間分をまとめて、どんな種類がとれどけいかなり発見しているのか、またその種類は昨年より昨年と比べて増えているのか減っているのかなどメンバーたちとの情報共有のために「オリジナルの明石川の図鑑」を作りたい、という意見がありました。

そして、私たちは知識向上のために漁協や水産試験場や湖田の保全活動や発表などに参加して勉強をしていますが、その度に色々なことださんの人たちにとても親切にしていただいているので、そのお礼として自分たちが自分たちで作ったことにも売っていないオリジナル図鑑をプレゼントしたい、という意見もありました。

そして、両方の意見から「私たち明石川のオリジナル図鑑を作ろう」というのが図鑑づくりのきっかけです。



## 1年がかりの図鑑づくり

オリジナル図鑑は毎年改訂しています。新しく捕れた種類や魚種を調べてみてわかったこと、記録をとってわかったことなどを夏休みの終わりに1年分をまとめて完成するので、冬休みから次の年の図鑑づくりの準備が始まります。みんなが玉津第一小学校に集まって、ゆっくり図鑑づくりができるのは冬休みと春休みと夏休みなので、休みの間で学校が開いている日は、ほとんど毎日午前中は学校で図鑑づくりをしています。

そして、夏休みの終わりにA3用紙のオリジナル図鑑の原本が出来上がると近くのスーパーマーケットやコンビニのコピー機でカラーコピーしますが、10冊分のコピーもこなすのに2時間以上かかります。なぜか調査よりも疲れてしまうメンバーが多く不思議です。

A3用紙からA5用紙に縮小カラーコピーすると、絵も文もキリッと引き締まって、とてもきれいに見えます。のりとかテープでとめたら1年がかりの図鑑づくりの完成です。

最初は「完成するのかな？」と不安に思っていたも完成したら充実感と達成感と達成感は何となく、また次もがんばろうね、という気持ちになります。

### 神戸市環境局自然環境課が製本へ

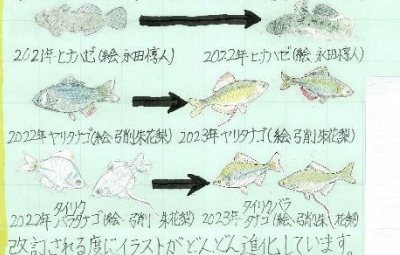
みんなが作った図鑑を見てすぐ応援してくれていた神戸市自然環境課さんが2021年改訂版から製本してくださりました。印刷会社で製本するので、つづいて売っている本のようなきれいな仕上がりになりました。神戸市もこの図鑑を使って環境保全を伝えていきたいと思います。なので、私たちもこれからはがんばろうねと思えました。



2019年~2023年までの図鑑の表紙です

## 進化し続けているイラスト

図鑑の絵のイラストは、みんなの投票で決めています。「どの絵が図鑑に見えたら一番わかりやすいか」で決めます。投票のときの緊張感はずいけれど、自分の絵に決まるときはとてうれしかったです。逆に自分が決まらなかつたときはとてさびしかったです。またかまはらうねという気持ちが入ります。投票で絵が決まると、さらに上達しようと毎年とんとん進化し続けます。



改訂される度にイラストがとんとん進化しています。

## 2023年版も初捕獲種が登場

2022年~2023年にかけて、今年も明石川で初めての種を捕獲しました。源流のオトゲエラカゴウ、河口のイセゴイなど、とちうとも珍しい種類が2023年改訂版から図鑑に載ります。特にイセゴイのレプトケファルス幼生は、見た目がシロコウジカゴウと似ていますが、サポーターが違和感を感じ、おと調べて、カライ目イセゴイ科のイセゴイのレプトケファルス幼生だとわかりました。

その後、土井さんが南紀生物に「兵庫県瀬戸内海流入河川におけるイセゴイの基形イシゴイの初記録」という論文を書いてくださり、捕獲イセゴイのレプトケファルス幼生は兵庫県立人と自然の博物館に標本登録されました。



## おわりに

みんなが作った図鑑を神戸市も認めてくださり、多くの人が明石川の生き物を知ってくださる、ととてもうれしいです。神戸市のHPの「明石川生物図鑑」でも見られ、感動が伝わって心動かされると思うので、ぜひ見てください。



### 活動のキーワード

---

①流域を知ろう

②遊んで、感じて、学ぼう

③滋賀県立大学 大学院生

### 発表内容

---

姉川とその周辺地域の自然・歴史・文化を遊びながら学べる”姉川流域すごろく”を作成しました。水の通り道はひとつじゃない！？山に降った雨は、姉川を流れ、ときには水路や田んぼ、隣の川に入り琵琶湖まで流れていきます。そんな水の流れを感じながら、遊んでみませんか。

『水』になって『琵琶湖』を目指そう!!特に、姉川流域にある水利施設を中心に、施設の目的、施設がある歴史的・地理的背景まで学べます。さまざまなテーマを専攻する県大の院生たちが、自分たちの強みを生かした出来となっております。生き物好きや川好きが作った、少々マニアックな誰もが遊べるすごろくです。

### 活動中の川や水辺の名称

---

姉川・米川・天野川・琵琶湖

### 活動内容

---

すごろくの作成

よいところ探しキーワード メモ!



# 姉川流域 すーろー

姉川とその周辺地域の  
自然・歴史・文化 について  
遊びながら学べるすごろくです！

『水』になって  
『琵琶湖』を目指そう！



山に降った雨は  
姉川を流れて  
ときには水路や田んぼに入って  
ときには隣の川に入って  
琵琶湖まで流れていきます



授業のoutputとして  
作りはじめました



大学生が  
スライドで説明！

つながりを感じながら  
遊んでみよう



石臼体験！



自分だけの旅ノート  
をつくらう！

- ・水になって琵琶湖を目指そう！
- ・お宝カードをたくさん集めてポイントが多い人の勝ち
- ・止まったスポットを記録して自分だけの旅ノートをつくらう

- \* 姉川（水路・天野川・米川）をくだってゴール（琵琶湖）を目指そう
- \* お宝カードをもらってポイントを集めよう
- \* 止まったマスの写真を貼って旅ノートをつくらう



## A-3 未来生物学研究所

---

### 活動のキーワード

---

- ① ハリヨ                      ② 種の保存                      ③ 学びの場の提供

### 発表内容

---

滋賀県には固有の生き物が多く生息しており、ハリヨは環境省レッドリストランクの絶滅危惧ⅠA類に指定されている貴重な淡水魚です。過去の調査から、滋賀県内の河川には地域ごとに種が保存されていることが分かっています。しかし、ある河川において他県由来のイトヨの放流により、交雑種の侵入およびハリヨとの遺伝子交雑が懸念されています。また、河川の開発事業などにおいて生物の住処が失われつつあります。このことから地域固有の生物に対して様々な問題があります。そこで、私たちはハリヨを含む生物を守るため、他団体や地域住民と共に様々な調査・研究・保護活動や理系人材の育成に取り組んでいます。

### 活動中の川や水辺の名称

---

彦根・米原・長浜 の河川（貴重生物がいるため詳細は控えさせていただきます。）

### 活動内容

---

環境保全活動を介した生物の種の保存と理系人材の育成

よいところ探しキーワード メモ！



# 環境保全活動を介した生物の種の保存と理系人材の育成

○原口大生 (長浜バイオ大学 未来生物学研究所)

キーワード ① ハリヨ ② 種の保存 ③ 学びの場の提供

## ○ハリヨとは

全長5~6 cmのトゲウオの仲間で、滋賀県と岐阜県、三重県の一部に生息していたが、土地開発や乱獲などにより三重県のハリヨは絶滅したとされています。そして、寿命は約1年で水温が13~16°Cの安定した湧水池や、その周辺の流れの緩やかな川に生息しています。また、水草などが多く生えている場所を好み、繁殖期にはオスが植物でトンネル状の巣を作ることが知られています。

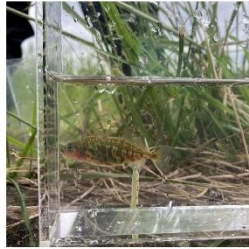
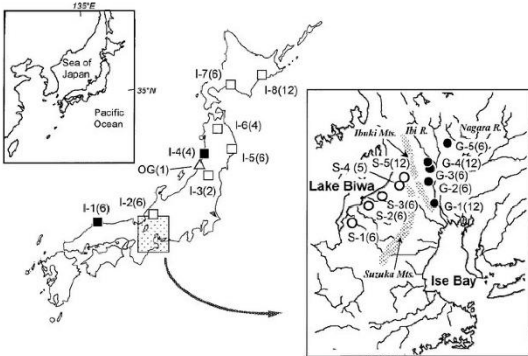


写真1: 湖北で捕獲したハリヨ  
調査河川と捕獲許可を取得した後に捕獲したハリヨは、体長が約3 cmで湧水の近くの用水路に多く生息していた。

## ○地域別の種の保存

同じ生き物でもゲノム(ここでは遺伝子)が違うことを知り、ハリヨについて調べてみると、滋賀県内でも遺伝子が違うハリヨがいることがわかりました。このことから、遺伝子汚染を防ぐために**捕獲した生体は捕獲した場所に返す**ことが大切であることを提唱しています。



Modified by Watanabe K, Mori S, Nishida M. Genetic relationships and origin of two geographic groups of the freshwater threespine stickleback, "hariyo". *Zoolag Sci.* 2003 Feb;20(2):265-74.

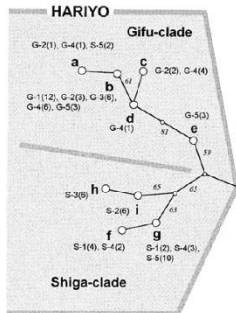


図1: ハリヨサンプリング箇所と系統分析

(左) サンプリング箇所はG-1: 海津市(南部)、G-2: 海津市(北部)、G-3: 大垣市、G-4: 揖斐郡、G-5: 山県市、S-1: 守山市、S-2: 東近江市、S-3: 彦根市、S-4: 米原市(南部)、S-5: 米原市(北部)の河川。(右) aからeは岐阜グループ、fからgは滋賀グループ。滋賀県産ハリヨは伊吹山系を中心とする集団と湖東平野北部域を中心とする集団の大きく2つの遺伝グループに分けられることが示唆されました。

## ○交雑問題

2007年頃に米原のある河川で、近縁種であるイトヨとの交雑による遺伝子交雑が起こっていることがわかりました。このことから、同地域における純系統ハリヨは存在しなくなったと考えられました。しかし、近年では別の支流で遺伝子交雑の起きていない個体群の生息が確認されています。



写真2: ハリヨとイトヨの交雑個体

(左) 純系ハリヨ (右上) 純系イトヨ (右下) ハリヨとイトヨの交雑種。染色によって鱗板数だけではなく、体形や各棘の長さなどもイトヨ的な様相(スレンダーな体形、相対的に棘が長い)が確認されています。(滋賀県立琵琶湖博物館HP、環境省HPより引用)

## ○環境DNAを用いた生態調査

水生生物の捕獲はかなりの熟練の技を必要とする場合があります。(網を打つのが困難、にこりで姿が見えない、隙間に逃げて捕獲できないなど) また、生体も傷つけてしまったり、繁殖時期などをは避けたほうがいい場合もあります。そこで、私たちは、簡便かつ生体を傷つけない川の水から生き物を調べる方法も活用しています。

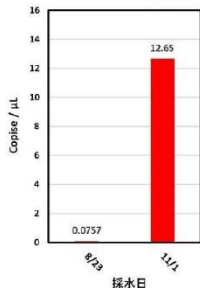


図2: 環境DNA解析の仕組み  
環境DNAとは動物の排泄物、組織片などに由来する水中に存在するDNA断片のことです。この環境DNAの有無から生物の在・不在を推定や環境DNAの量から生物量を推定することができます。

図3: 環境DNA解析の結果  
8月末には低い値であった環境DNA量が11月頭には約160倍に増加していることが確認されました。これにより遅くとも8月末時点では産卵を終え、成魚はほぼ死滅していることが推測され、遅くとも10月下旬には卵は孵化しており、個体数が増加していることが考えられます。

## ○地元団体や小中学生との生態調査と理系人材の育成

私たちは地域の方々の協力と認知活動により環境保全活動が進んでいくと考えています。そこで、地元団体や市民を巻き込んだ様々なイベントなどを行っています。また、未来を担う子供たちの科学に対する楽しさや面白さを知ってもらうことで意識改革を目指しています。そのために、学習会や実験のお手伝いもしています。



写真3: 地元団体との環境保全活動

(左) 長浜市米川における生態調査と川ならし (右) 地元保育園の魚スケッチ。各地元団体と協力して、川イベントやセミナー、水槽の設置などを行っており、一般市民向けの環境保全や教育活動にも力を注いでいます。



写真4: 小中高校生との科学技術学習会とハンズオン

(左) 小中学生向けお魚調査隊と微生物観察会 (右) 高校生と研究勉強会とDNA抽出講習。大学で学んでいることが身近に活用できるように科学技術セミナーも行っています。

## A-4 小さな自然再生ネットワーク

---

### 活動のキーワード

---

- ①. 自然からの恩恵                      ②. 川あるき                      ③. 親水と親睦

### 発表内容

---

大宝小学校の校舎と校庭の間を流れる中の井川にホタルが生息しています。ホタルの生息エリアを広げるため、毎月第3日曜日に「川をあるき」をしています。

川をあるき中の井川に小魚が増えたり、ブラックバスが生息していたり、子供たちが釣りに熱中していたりと多くの発見があります。

また江戸時代の朝鮮通信使の日記に糺村のホタルが登場するなど、ホタルに縁の深い場所であることを再発見しました

### 活動中の川や水辺の名称

---

中の井川

### 活動内容

---

- ・ 毎月第3日曜日に「川をあるき」を行い、水辺の生物を観察する
- ・ 中の井川にまつわる情報を調査・研究する。
- ・ 周辺の人々と川を中心とした交流を深める

よいところ探しキーワード メモ！





# 小さな自然再生ネットワーク 活動報告 (2023年10月22日(日))

## 1. 「川をあるく」活動の成果

川に小魚が増え、小魚を求めて(?)水辺に野鳥が増える。  
子どもたちが釣りを楽しみ、憩いを求めて散歩する人が増える。

鯉の親子? 初めて見る景色!

釣りを楽しむ子どもたち

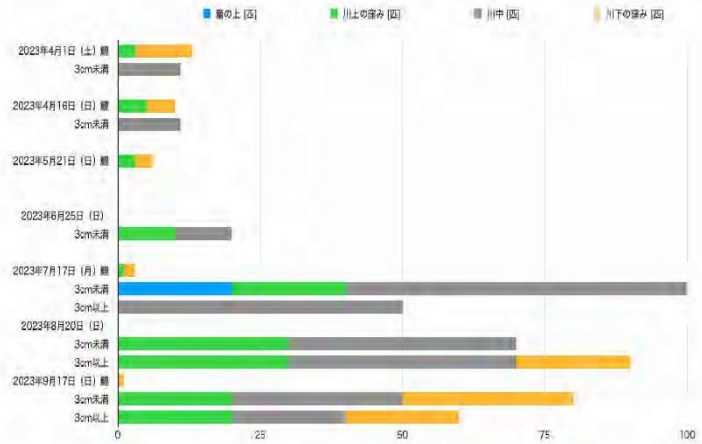


水辺に集まる野鳥や亀

憩いを求めてあるく親子

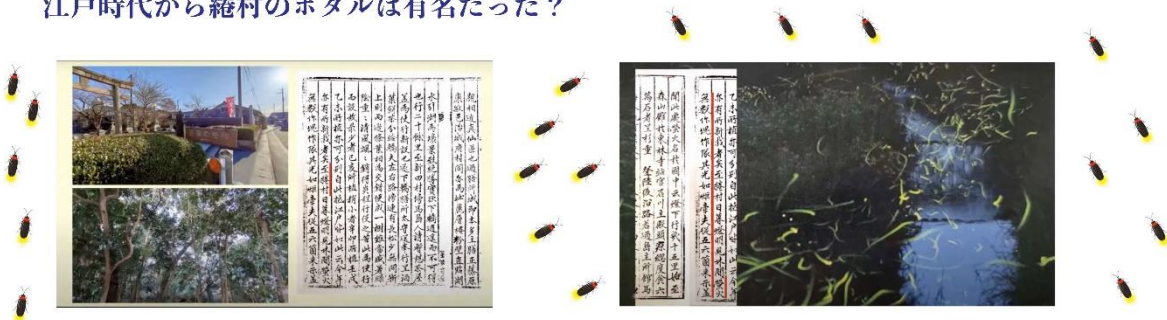
目視による小魚の推移

日付	養期	橋の上 [区]	川上の深み [区]	川中 [区]	川下の深み [区]
2023年4月1日 (土)	鯉	0	3	0	10
	3cm未満	0	0	11	0
	3cm以上	0	0	0	0
2023年4月16日 (日)	鯉	0	5	0	5
	3cm未満	0	0	11	0
	3cm以上	0	0	0	0
2023年5月21日 (日)	鯉	0	3	0	3
	3cm未満	0	0	0	0
	3cm以上	0	0	0	0
2023年6月25日 (日)	鯉	0	0	0	0
	3cm未満	0	10	10	0
	3cm以上	0	0	0	0
2023年7月17日 (月)	鯉	0	1	0	2
	3cm未満	20	20	50	0
	3cm以上	0	0	50	0
2023年8月20日 (日)	鯉	0	0	0	0
	3cm未満	0	30	40	0
	3cm以上	0	30	40	20
2023年9月17日 (日)	鯉	0	0	0	1
	3cm未満	0	20	30	30
	3cm以上	0	20	20	20



## 2. 講演会を実施「江戸時代に朝鮮通信使が見た菟村のホタル」

講師: Hippo ファミリークラブ言語交流研究所研究員 杉山さん(岸和田市在住)  
洪景海 (ホン・ギョンヘ) の使行録『随槎日録』で記載された菟村の様子を紹介。  
江戸時代から菟村のホタルは有名だった?



## A-5 びわ湖豊穡の郷

---

### 活動のキーワード

---

- ①生き物のすみかを守る      ②リサイクルを呼び掛ける      ③一緒に活動する仲間を増やす

### 発表内容

---

目田レンジャーは、豊穡の郷のおじさんやおばさんが長年に渡って清掃活動をして守ってきてくれた目田川を僕たちも守っていこうと、子どもたち中心で活動を始めました。

川や琵琶湖の生き物たちを守るために、清掃活動をしたり、リサイクルを呼び掛けたり、一緒に活動してくれる仲間を増やしています。

今日はそんな僕たちの活動をきいてください！

### 活動中の川や水辺の名称

---

目田川      守山市守山町付近

### 活動内容

---

河川清掃、生き物調査、ホタルの幼虫放流

よいとこ探しキーワード メモ！



# ぼくたちは目田レンジャー

## 生き物たちのために

### 川を守る！！



真冬に川底の岩をひたすら掘り起こした！！



外来種とは？  
もともといなかった所へ人の手によってつれてこられた生きもの。



## ホタルの自生を目指す！ 今だ！！ 行動しよう！

### 小さな自然再生

小さな自然再生とは・・・  
土木工事ではなくお金をかけずに出来ること  
興味のある人は誰でも出来ること  
修復と撤去が簡単に出来ること



外来種をほかにする理由は  
はんぱくがたつよく、水草  
魚、貝もなんでも食べて  
ほう、ホタルやカワエナ  
カマツカなどを捕獲する  
ためにもほかくが必須



これがぼくらの手作りバーフ溝！！→  
その後、幼虫放流していない場所でホタルの幼虫を発見！

ホタルが自生できる条件  
・川底が2cm以下の小石(れぎ)であること  
・産卵するためのコケが岸にあること  
・幼虫のエサであるカワエナが多くいること  
・近くに街灯がないこと

### 70匹くじで成功しました

ほかく方法 あみもんとり、ちうかみ  
2022年7月から10月(回) 1回のあたりは  
7/9 9区 1/4 16区 ほたるの森資料館へ  
8/16 9区 1/7 12区 持参してほたるのエサに  
9/2 16区 1/1 1区 してもらいました。



人が環境を壊すこともあるが、人が少し手を加えろと戻って来る生き物がいる！



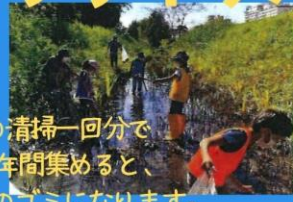
## ゴミをへらすために

## リサイクルを呼びかける！

毎月第3土曜日は！  
目田川. そうじ  
目田川は私たちが守っています！



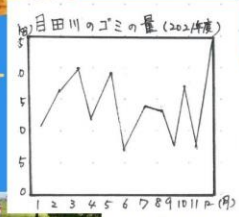
この写真は、目田川の清掃一回分で拾うゴミの量です。年間集めると、なんと！！168,7キロのゴミになります。これは、パンダ(おとな)一頭分にひびてぎします！！人間ゴミ持ちすぎ！



ぼろぼろになったナイロン

リサイクルを  
まもろう  
川の生き物を  
わたしたちが育てるだろうか？

毎月の目田川のゴミの量



きれいに洗ったトイをスーパーに持っていきます

目田川には、ビニールぶくろやかん、ペットボトルなど、色々なゴミがおちています。その中でもビニールぶくろやかんは、ぼろプラスチックは、長い間たいようの光にあたり、ボロボロにこまかくなります。それを**マイクロプラスチック**と言います。もうびわこの魚たちは、マイクロプラスチックをのみこんでいる。



琵琶湖のゴミの多くは、川から流れてくるゴミです。目田川は、守山市でホタルがたくさん飛ぶ川です。ゴミ拾いをつづけることで生き物が住みやすい環境を守ることができます！

みんなであつてリサイクルを守ろう

ルール  
①おふのようき  
②おべんとうのようき  
③か、ブメンなどのようき  
④な、とうのようき  
⑤シールがついてるようき  
※つまようじがきさらないようきはだまらぬ

リサイクルできないプラスチックを  
ボックスに入れよう

青空の下  
きもちいいよ



## 清掃活動の仲間をふやす！！

## 目田レンジャー大ぼ集！！

QRコードを読み込んでみてください！  
毎月第三土曜日に僕たちと一緒に活動しよう！！



## B-1 せせらぎの郷須原

### 活動のキーワード

- ①魚のゆりかご水田      ②多様な主体との連携      ③琵琶湖システム

### 発表内容

生物多様性に配慮した琵琶湖と共生する米づくり「魚のゆりかご水田」を柱に、多様な主体と連携した6次産業や環境教育の取組など、琵琶湖システムとして世界農業遺産にも認定された「せせらぎの郷 須原」の地域づくりについて発表。

○魚のゆりかご水田プロジェクトの実践 琵琶湖と生きものがつながる農村の原風景を取り戻す活動を展開。（生き物観察会など）

○環境教育の実施 近隣の小学校への出前授業や現地での田植えや収穫体験など。県内だけでなく下流地域の大学生とも連携した無農薬農業の実施。

○国際貢献 海外からの研究機関や大学生に対する意見交換など。

### 活動中の川や水辺の名称

琵琶湖、野洲市須原地域の水田

### 活動内容

生物多様性に配慮した琵琶湖と共生する米づくり「魚のゆりかご水田」を柱に、多様な主体と連携した6次産業や環境教育の取組など、琵琶湖システムとして世界農業遺産にも認定された「せせらぎの郷 須原」の地域づくり。 ○魚のゆりかご水田プロジェクトの実践 琵琶湖とつながる生き物に配慮した水田での活動。オーナー水田の取組など。 ○環境教育の実施 近隣の小学校への出前授業や現地での田植えや収穫体験など。県内だけでなく下流地域の大学生とも連携した無農薬農業の実施など。 ○琵琶湖システムの発信 琵琶湖システムの取組として魚のゆりかご水田の魅力を感じてもらうためのツアーの受入。 ○6次産業化の取組 日本酒づくり、大麦ストローづくりなど。 ○国際貢献 海外からの研究機関や大学生に対する意見交換など。

よいところ探しキーワード メモ！



# 「魚のゆりかご水田 in せせらぎの郷 須原」 世界へ、そして「未来」へ



2022年7月18日

祝 世界農業遺産「琵琶湖システム」



琵琶湖の環境や生きものを大切に思いながら、ずっと昔から受けつがれてきた農林水産業や食文化などの人々の営みを「琵琶湖システム」といいます。その中の大きな構成要素として「魚のゆりかご水田」があります。



## 生物多様性に配慮した活動



魚道を設置し、田ぼで魚の産卵繁殖。生き物観察会の実施。

## 環境学習の実践・下流域にも



地元小学校に加え、県内外の大学生も多数参加。時には、オンライン学習会も。

## 国際交流・国際貢献



JICAをはじめ、各国の大学関係者、研究者などが環境保全の取組、農業政策などについて研修や交流として視察。

## 多様な主体との連携



6次産業化の取組やオーナー水田では多数の企業が参画。世界農業遺産協議会活動。



## 次世代への継承

子どもたちや生き物の未来のために・・・

### 活動のキーワード

---

- ①高島市                      ②子どもの環境体験                      ③研究者になろうツアー

### 発表内容

---

私たち IVUSA は、子ども達が琵琶湖の環境問題を学び、考える機会を提供したいという思いから、2022 年より「びわ湖の研究者になろうツアー」を企画・開催してきました。今回は、今年 8 月に第 3 弾として開催した「水源の森探検隊 in 高島」について紹介します。高島市の森林公園 くつきの森と針江生水の郷を巡り、森林と川、湧き水の繋がりを体験、実験し、子ども達に「理想の里山」について考え発表してもらいました。子ども達の好奇心や探求心を刺激する IVUSA ならではのツアーを紹介します。

### 活動中の川や水辺の名称

---

琵琶湖 高島市

### 活動内容

---

子どもの環境体験学習

よいとこ探しキーワード メモ！



びわ湖の研究者になろうツアー 第3弾

# 水源の森探検隊 in 高島

## ★ 活動概要

「水源の森探検隊in高島」を8月25日に開催！  
このイベントは、  
子どもたちに自然体験を提供するだけでなく、  
琵琶湖を取り巻く自然環境(森、川、里)が  
人の暮らしと関連することを学んでもらいたい  
と考え、大学生が中心となって企画しました。



## 5 発表会

一日を通して経験したこと・感じたこと  
を用い、「理想の里山」について自由に発表！  
理想の里山について考えてもらうことで、  
琵琶湖を取り巻く環境に親しく感じてもらいました。



## 4 森林土壌の 再現実験

森林の土壌を再現して、  
土壌を水がゆっくり流す  
様子を観察し、  
水の保水力の比較実験や  
地下水脈ができる仕組みを  
再現しました。



## 1 川端見学

針江生水の郷で川端を見学！  
湧き水に触れて、  
湧き水と人々がどのように共存し  
ているかを見学してもらいました。



## 2 川あそび

針江生水の郷にある小川で水遊び！  
水辺の生き物を捕まえて観察し、  
たくさんの生き物と触れ合いました。



## 3 森探検

くつきの森で森を探検しました！  
落ち葉の分解や、自然林と人工林の違い、  
はじめての生き物に出会うだけでなく、  
実際に水が湧き出てる様子も観察しました。



## B-3 日野川流域まもり隊

---

### 活動のキーワード

---

- ①ごみ拾い                      ②日野川                      ③川辺での地域交流の促進

### 発表内容

---

かつていかに遊びをするなど地域と共にあった日野川の岸辺が今では不法投棄の温床となり、地域との関係が希薄となっています。川をきれいにし、地域の交流を作りたいという思いで、月1回ごみ拾いの日を決めて日野川沿いの清掃業務を4年間続けてきました。続ける中で活動に参加してくださる方が増えたり、別団体の方が協力してくださったりして少しずつ活動の輪が広がり、ごみも減ってきました。継続してきた活動や、それによる変化について紹介します。

### 活動中の川や水辺の名称

---

日野川

### 活動内容

---

不法投棄の温床となっている場所を月1回ごみ拾いの日を決めて日野川沿いの清掃業務を4年間続けています。一人から十数名に協力者が拡大できていること。

よいところ探しキーワード メモ！





# 日野川流域まもり隊

ふるさと農道のポイ捨てごみが非常に気になり、拾いはじめると、日野川沿いの側道は、ポイ捨てごみ、不法投棄の温床になっているのに気づく。



2019年10月 篠原町からふるさと農道、桐原新橋から桐原橋の日野川沿いでスタート。一人で始めた活動でしたが、一人、二人と一緒にしようという方が出てきて、今では8人から13人が定期的に参加して下さるようになりました！さらに、他の町内の方や日赤奉仕団、また個人でゴミ拾いをしている方との連携もできるようになり、地域の交流に繋がっています！

## B-4 海をつくる会

---

### 活動のキーワード

---

①湖底清掃

②ダイバー

③湖底ゴミデータ採集

### 発表内容

---

ダイバーを中心に、湖底及び湖岸の清掃をしています。また、清掃で得られたゴミデータを県へ提供しています。湖底という、普段は見えない場所、簡単に行けない場所を清掃し、その現状を、県民の皆さん伝え、一人一人が自分事と考えるよう色々な企画や、発表の場への積極的な参加をしています。

### 活動中の川や水辺の名称

---

琵琶湖 全域

### 活動内容

---

発表内容と同じ

よいところ探しキーワード メモ！





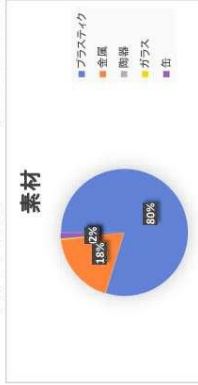
湖底ゴミデーター採集

# 海をつくる会

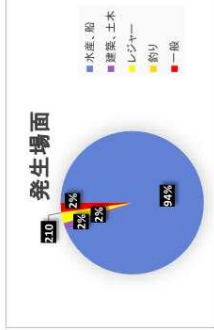
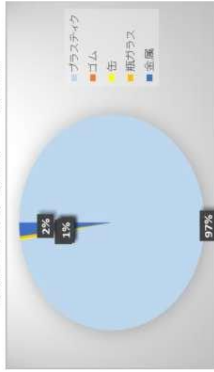
湖底 & 湖岸清掃



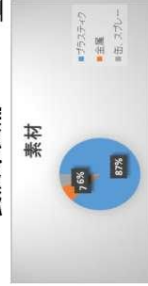
## 長浜市菅浦 漁場、釣り場(現在は釣り禁止)



## 大津市近江舞子 元港



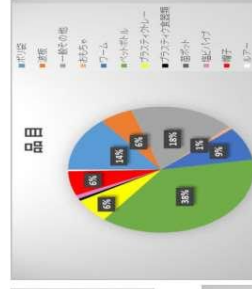
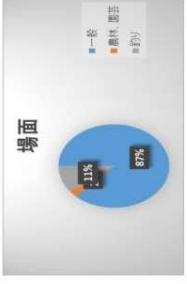
## 長浜市大浦 埋め立て緑地公園



## 近江八幡市宮ヶ浜 砂浜水泳場&釣り場 ポリ袋がNO.1



## 素材



今年度内予定 調査タイプ同時

10月15日 大津市におの浜 埋め立て公園

11月26日 長浜市西野放水路 複雑地形 元漁場、釣り場、水路

琵琶湖一周全部清掃しています

どこかで見かけたら、お気軽にお声掛けを



### 活動のキーワード

---

- ① 三条大橋                      ② 歴史文化                      ③ 魅力発信

### 発表内容

---

京都市の鴨川には、天正 18（1590）年に豊臣秀吉の命により架橋された 400 年の歴史を持つ三条大橋が架かります。「東海道五十三次」の西の起点になるなど歴史的価値が高く、石柱の橋脚や擬宝珠、高欄など当時の形状を引き継いでいるのは、鴨川に架かる橋では三条大橋だけとなります。

木製高欄の更新から 40 年以上経過し、老朽化の進行を受け、京都市はふるさと納税などによる寄付を募り、5 億 800 万円をかけた補修・修景事業に取り組んでいます。

鈴木ゼミでは、2019 年から三条大橋の魅力発信をテーマに活動しています。三条大橋というテーマは同じでも、毎年（学年ごとに）活動内容は異なります。4 年間を通し、私たちが行ってきた取り組みを紹介します。

### 活動中の川や水辺の名称

---

一級河川 鴨川 （淀川水系）

### 活動内容

---

三条大橋の魅力発信

よいところ探しキーワード メモ！



# 400年の歴史を持つ三条大橋を未来へ

## 京都産業大学鈴木ゼミ

### はじめに

京都市の鴨川に架かる三条大橋は、天正18（1590）年に豊臣秀吉の命により架橋された400年の歴史を持つ橋である。「東海道五十三次」の西の起点になるなど歴史的価値が高く、石柱の橋脚や擬宝珠、高欄など当時の形状を引き継いでいるのは、鴨川に架かる橋では三条大橋だけである。木製高欄の更新から40年以上経過し、老朽化の進行を受け、京都市はふるさと納税などによる寄付を募り、5億800万円をかけた補修・修景事業に取り組んでいる（2024年竣工予定）。鈴木ゼミでは、2019年から三条大橋の魅力発信をテーマに活動している。

### ポスター制作（2019～2022年）

京都市の依頼を受け、ふるさと納税による三条大橋の補修・修景事業の寄付を呼びかけるポスターを制作。京都市営地下鉄の駅構内と京都市内の京阪系バス約500台の車内に掲示。



2019年



2020年



2021年



2022年

### ふるさと納税返礼品作製



三条大橋ラベルの日本酒  
(2020年)



高欄に使用される京都産ヒノキの  
端材から精製したアロマオイル  
(2022年)

### イベント開催

#### 絵画イベント（2019年）

三条大橋を題材にした絵画イベントを実施。応募された作品は、ポスター（2019年）に活用。

#### ツアーイベント（2023年）

京阪ホールディングス株式会社の協力で、三条大橋をテーマとしたツアーを実施。三条大橋の歴史や文化、周辺のスポットをガイド。



### クリアファイル配布（2022年）

クラウドファンディングを募り制作した三条大橋オリジナルクリアファイルを、三条大橋周辺の小学校へ配布（約2,170名）。この活動は評価され、京都市教育委員会より感謝状を受けた。



### モザイクアート展示（2023年）

京阪ホールディングス株式会社の協力で、三条大橋に関するメッセージ（204名）を用いたモザイクアートを京阪電車三条駅構内に展示。モザイクアートの展示を記念して、テープカットセレモニーも実施。



## B-6 結いの里・椋川

---

### 活動のキーワード

---

- ①自然                      ②暮らしの文化                      ③地域づくり

### 発表内容

---

椋川は、小浜市に流れる北川の源流部に位置しています。ここでは数十年前までサクラマスが遡上していました。下流の熊川地域などと連携しながら、サクラマスが再び遡上できるようにして、いつかは美味しいイクラ丼を食べてみたい、と妄想を膨らませています。

### 活動中の川や水辺の名称

---

北川

### 活動内容

---

椋川地域の自然を気に入っている人たちや椋川、熊川の有志の人たち、そして水産学や河川工学の大学の研究者の方たちと川の生き物調査を始めたところです。

よいところ探しキーワード メモ！



# カムバック！サクラマス！ びろじゅくと



## <滋賀県にサクラマス??>

高島市の北西部に位置する桜川地区は、滋賀県内でありながら琵琶湖水系ではありません。福井県小浜市を河口にする北川の源流部に位置します。

## <〇〇年前までは>

地元の釣り好きのおじいさんが「昔はマスがのぼってきて、淵にようけおって捕まえた」  
今津の人でも「自転車で桜川まで行って捕まえた。ヤマメの主みたいなのがおった」

## <でも今は>

いつしか、サクラマスは遡上しなかった。  
今の川は・・・「川の水が減った」「雨が降るとすぐに濁る（増水する）」  
山が変わってしまったから？何が変わったの??

## <サクラマスのプロジェクトを通じて>

山や川・里を昔のような状態に戻したい  
川で遊ぶ子を増やしたい  
川に関心を持ってもらいたい  
イクラ丼も食べたい♥

## <結いの里・桜川>

桜川の自然や暮らしの文化を活かした交流活動の取り組みをしています。滋賀県立大の学生さんなどに協力いただいて、生きもの調査や観察会などを続けてきました。



## C-1 瀬田川リバブレ隊

---

### 活動のキーワード

---

- ①地域の環境整備                      ②交流                      ③世代をつなぐ

### 発表内容

---

身近な河川の、草刈り・清掃活動を続けており、地域の方も一緒に参加いただいています。近くの保育園の子どもたちが参加してくれる時もあります。小さな活動ですが地域の目に触れることにより住民自らの、より快適な住環境となるための行動につながればいいと考えています。県主催のびわこルールキッズの取り組みや他団体が実施される外来魚釣りのお手伝い、全国一斉水環境調査に参加しています。

### 活動中の川や水辺の名称

---

高橋川（毎月 10日）、西の湖（毎月 25日）

### 活動内容

---

草刈り、清掃。外来魚釣り。水質調査。

よいとこ探しキーワード メモ！





# 川を楽しみたい 川で遊びたい River Play 隊

ためらわず一歩踏み出せよ Believe yourself 前へ前へ



特定非営利活動法人 **瀬田川リバプレ隊**  
since 2003 会員募集中です

地域社会への貢献 協働 透明性 楽しいこと

## 続けていること

<https://riverplay.org>

- 瀬田川の清掃活動(毎月10日)
- 高橋川の清掃活動(毎月25日)
- 全国一斉水環境調査に参加
- こども環境学習会(琵琶湖博物館見学)
- 他団体の外来魚釣りなどに協力参加 など



山  
里  
湖  
海



身近な川に親しむ ちょっと水辺に近づいてみようかな あれっ こんな処にアユがいるっ！  
ペットボトルや空き缶が落ちてるやん(=捨ててる人がいる)  
いろんな事を感じながらも、みんなが気持ちよく過ごせるように、自分たちはどうしたらいいやろ？  
子どもたちが、将来の自分のこととして何かを感じてくれればいいし、そのためにわずかな範囲だけど手入れしよう  
自然を感じながら川に接してくれればいいし、地域の方々や子どもたちの声は何よりの励みになりますね  
適度な動き、刺激、達成感は、我々の健康の糧でもあり、これからも無理せず続けようかと……

## C-2 長浜まちなか地域づくり連合会

---

### 活動のキーワード

---

- ①川歩き・川遊び                      ②水生生物調査                      ③自然・文化資源の保全

### 発表内容

---

市街地にもかかわらず豊かな水環境や、450年の歴史で培われた文化資源に恵まれる”キセキの川”の米川。しかし、生活様式の変容で、米川は、地域住民の暮らしから隔たり、背中を向けられるように。こんななか、市民が親しみ、憩える水辺空間を取り戻そうと、夏原グラントなどの支援を受けて、地域住民が主人公となって、地域内外を問わず、“やりたい人””できる人”を仲間として取り組む。子どもたちが楽しむ川歩き・川遊び、学生・団体自らが体験する米川まつり、河川景観の再発見、冬の川面の灯り、バーブ工体験、ホテルの再生支援などに取り組む。背伸びせず、楽しむ中で、地域の顔、誇りづくりへと一步一步。

### 活動中の川や水辺の名称

---

一級河川米川、長浜市市街地

### 活動内容

---

- 1・川への関心を高めよう
- 2・川で遊ぼう
- 3・大学生、高校生など、地域内外の仲間と楽しもう
- 4・川を美しく、再生しよう
- 5・川の環境や生き物をもっと知ろう

よいとこ探しキーワード メモ！



# 米川・かわまちづくり

まちなかに残る“キセキ”の川



(昭和30年代)



(現在)

【湖北の暮らし案内所とどんどん付近】



米川がもたらすおいしい  
やすらぎのある暮らし

古くは舟運の水路  
野菜などを洗う水場  
子どもたちの遊び場  
四季折々での様々な表情



米川に関わる地域の人たち

沿川自治会が、暮らしに身近な米川を美しくするため、毎年5～6月に、一斉清掃



米川の水辺環境の保全

ホテルを愛でる会の結成。  
ホテルの飼育、放流、そして観賞会の開催



米川を活かした新しい  
暮らしの発信

湖北の暮らし案内所・どんどん。さまざまな発想や取組をサポート、使われなくなった町家・路地・水辺空間のリノベーションを丁寧に組み合わせた活動

H28～ 米川治水の解決に

R1～ 川歩き&ごみ拾い&ワークショップからスタート



三日月知事の現地視察 (H29)



川あるきの印象

県外から来たけど、まちなかを清流が流れているなんてまるで「キセキ」など

## I 川への関心を高めよう

- 米川まつり
  - ・川遊びや魚とりなど、大人も子どもも楽しめる夏まつり
- ほたる、まちの灯りで、魅力アップ

## II 川で遊ぼう

- 川なかプレーパークづくり
  - ・手づくりの川床(ペットボトルでつくった筏)を活用し、日常の遊び場づくり



川床遊び

## III 大学生、高校生など、地域内外の人と仲間と楽しもう

- ・やりたい人、できる人の“まぜこぜ”で米川ネットワークのすそ野を広げることから始めます



高校生ワークショップ  
県大フィールドワーク報告会

## IV 川を美しく、再生しよう

- 川の再生
  - ・土砂の堆積や草の繁茂をなくしていくため、置き石(パーブ工)で流れを変え、自然の営力を活かして川を再生
- 川を繕す
  - ・川床の藻の除去などのため、川歩きとごみ拾い



パーブ工調査

## V 川の環境や生き物をもっと知ろう

- ・ガサガサで捕獲した魚を、水槽に移し、生息している魚などを子どもたちで調査
- ・水中の画像・動画により、より楽しく、川のことを子どもたちに学ぶ。



市内高校生川歩き

園児の川歩き



水生生物調査

## C-3 山内エコクラブ

---

### 活動のキーワード

---

- ①生き物観察会                      ②プランクトン                      ③みんなの命をまもる

### 発表内容

---

野洲川エコスクールは3年目になります。野洲川に注ぐ田村川、本流の野洲川で月に1度観察会をしています。今年も黒滝、黒川、徳原、湖南市と4か所の川に行きました。また今年も、プランクトン観察をし、いつも観察会をしている野洲川上流と、瀬田の洗堰付近の水の比較をしました。顕微鏡で見るいろいろなプランクトンを見るのはかわいくて感動でした。

小さなプランクトンに私たちの命が支えられていることを学びました。

100年後の野洲川、琵琶湖を守るために、自分たちに何ができるか、まとめて発表します。

また、番外編では信楽多羅尾水害100年目の語り部さんの講演会にも参加し、水害の恐ろしさ、日頃からの防災の大切さも学びました。

### 活動中の川や水辺の名称

---

野洲川、琵琶湖

### 活動内容

---

生き物観察会、プランクトン観察

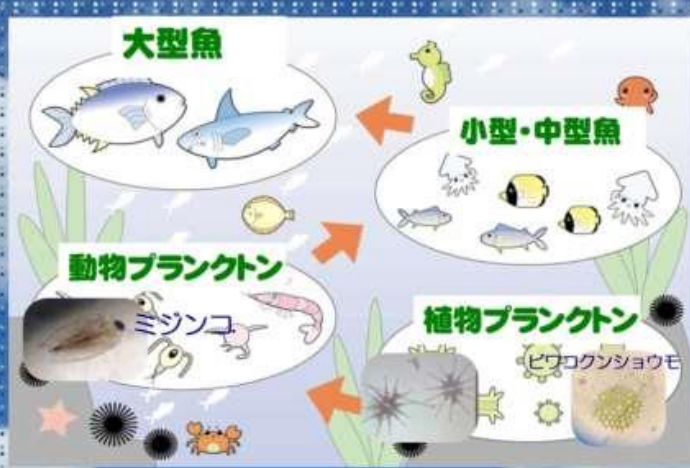
よいところ探しキーワード メモ！



# 野洲川エコスクール 2023

## 田んぼ・川・びわ湖・人が 生き物でつながっている!

7/9 プランクトン観察会 プランクトンっておもしろい



### 私たちにでもできること宣言

- 川を汚さない
- 水がきれいすぎても生きものはなくて、でもきたなすぎても生きものがいないから、環境にあったようにしないとけない。
- 食べ物を残さず食べる
- よそでつかまえた生き物を違う場所で放流しない
- 観察会に参加して川や琵琶湖にいる生きものに興味を持つ
- ごみを捨てたりすることはもちろん、外から生きものや植物を持ってくることもしてはいけない
- ゴミは分別する
- 水を大切にす、節水する

#### 5/21 野洲川(田村川)観察会



カワツム、タカハヤ、ヨシノボリ、水生昆虫化石探しなど宝探しのようです。

#### 8/13 田んぼの水路観察会



カワツムが大量に発生! いつものアカハライモリはいませんでした。

#### 7/30 湖南市(荒川)観察会



野洲川中流の湖南市も、森に入れば生きものに出会えました。

#### 9/10 野洲川(黒滝)観察会



黒滝の観察会ではマムシに出会い、びっくり。昼食は箱膳ランチで、水の大切さを学習

#### 7/9 信楽多羅尾水害講演会



昭和28年に起こった信楽多羅尾の大水害から70年を節目とするフォーラムに参加しました。

2人の体験者からの当時の話を聞きました。(多羅尾では大雨による)大雨の後「山津波」と呼ばれる土石流で、45名の方がなく亡くなられたようです。またその時に村では助け合い支え合いながら復興したお話でした。

私たちは、川と親しみながらも、自然災害の怖さも知って、日頃からの準備も大切にしないとけないと思いました。

## C-4 神山つなぐ公社

### 活動のキーワード

- ①「行こう、鮎喰川！」                      ②先達                      ③多世代

### 発表内容

徳島県の山間にある小さな町、神山町。このまちで取り組んでいる地方創生「まちを将来世代につなぐプロジェクト（通称つなプロ）」の施策のひとつ「地域の先達に学ぶ防災教育を兼ねた自然体験の促進」で取り組んでいる活動について、発表します。私たちは、まちに暮らす先達（川と山の達人）から昔の遊びや暮らしを教わりながら、川遊びの文化や暮らしを将来世代につないでいけるよう取り組んでいます。今回は、この活動から派生して生まれている新たな展開についても発表します。神先さん考案の「川すごろく」は〈川の今・昔〉〈その川の生き物〉〈川の課題〉などなど、どの世代も一緒につくり・遊べる「すごろく」です。

### 活動中の川や水辺の名称

一級河川 鮎喰川 （吉野川水系）

### 活動内容

「行こう、鮎喰川！」 多世代交流と暮らしの伝承・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  
私たちの活動は、神山町で取り組んでいる地方創生のプロジェクト「まちを将来世代につなぐプロジェクト」として取り組んでいる活動です。中山間地である神山町は、町全体が鮎喰川流域として存在しており、山と川（やがては海へ）のつながりを感じながら暮らしてきたこれまでの神山での暮らしを大切に将来世代にもつないでいこう！と、活動を行う際には、山の活動でも川の活動でも「行こう、鮎喰川！」と称して、神山に暮らす地域住民の皆さんと一緒に取り組んでいくことを大切にしながら活動しています。

よいところ探しキーワード メモ！





### 活動のキーワード

---

- ①湖岸緑地                      ②マナー改善の取組                      ③社会実験

### 発表内容

---

琵琶湖岸の公園である湖岸緑地では、いつでも誰でも琵琶湖の魅力を満喫することができます。近年は、アウトドアブームとコロナ禍の影響もあり、手軽にバーベキューやキャンプを楽しむ利用者が多く訪れるようになってきました。特に南湖東岸の湖岸緑地では、行楽シーズンの土日や休日には大変混雑し、マナーの良くない行為が目立つようになってきました。

管理を受け持つ県（公園魅力向上推進室）と指定管理者（南湖東岸ゆうゆうパートナーズ）は、みんなの美しい琵琶湖岸の公園を保つため、日々管理に取り組んでいますが、今回は、利用者のマナー改善に向けて力を入れている取組について発表します。

特に今年春の大型連休には、志那2駐車場を有料予約制にする社会実験をしました。取組のPRを通じて、湖岸緑地の現状を知っていただくとともに、価値や魅力を再認識していただきたいと考えています。

### 活動中の川や水辺の名称

---

湖岸緑地南湖東岸 エリア

### 活動内容

---

琵琶湖岸の公園管理

よいとこ探しキーワード メモ！



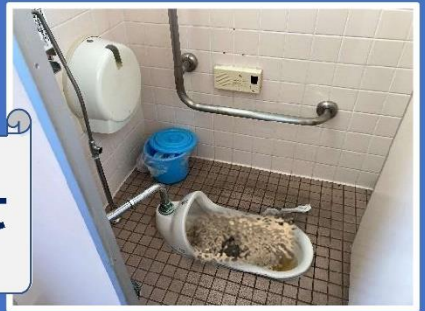




**トイレを綺麗に  
使いましょう**



**今年のある日曜日。  
志那1のトイレが詰まって  
しまいました。**



# 湖岸緑地でこんなことが！

**火**の良くない扱い



**火災発生！**



**ベンチが焼損！**



**ゴミ放置**

駐車場で…

**場所取り**

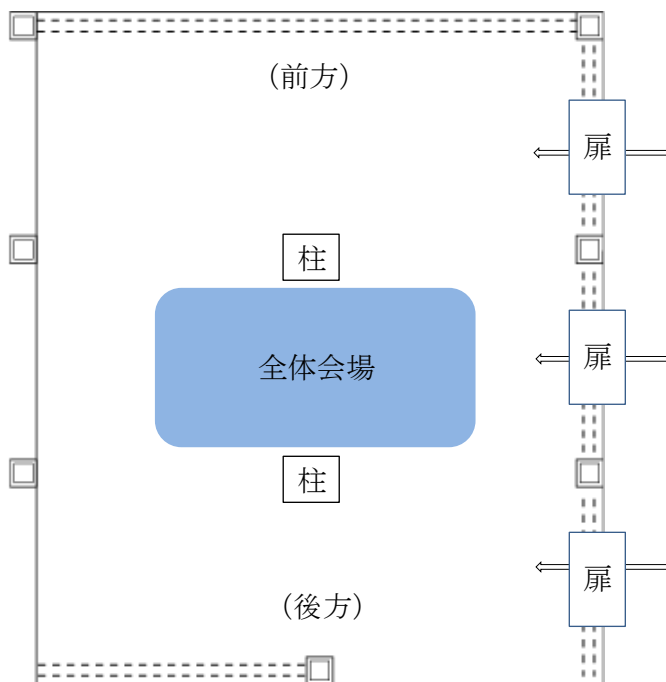


**みんなの美しい琵琶湖岸の公園を保つため  
マナー改善に向けて日々取り組んでいます。**

【湖岸緑地南湖東岸エリア管理者】  
滋賀県公園魅力向上推進室  
南湖東岸ゆうゆうパートナーズ  
一部加工しています。

## 10. 現地会場 フロア全体図 (ピエリホール ピエリ守山2階)

全体形 (開閉会、全体発表、全体討論時等)



3テーブル形 (テーブル選考時)

